

大学の魅力PRレポート

1. 研究室概要

大学名	実践女子大学		研究者	松岡 康浩
			職位	准教授
研究領域	食品産業学		窓口担当	研究推進室 研究推進課
研究キーワード	食品開発、フードマーケティング、調査、コンセプト			
住所	〒191-8510 東京都日野市大坂上 4-1-1			
電話	042-585-8821	E-mail	kenkyu@jissen.ac.jp	
FAX	042-585-8818	URL	https://www.jissen.ac.jp/about/teacher/matsuoka_yasuhiro.html	

2. 技術PR事項

『マーケティングからの食品開発』

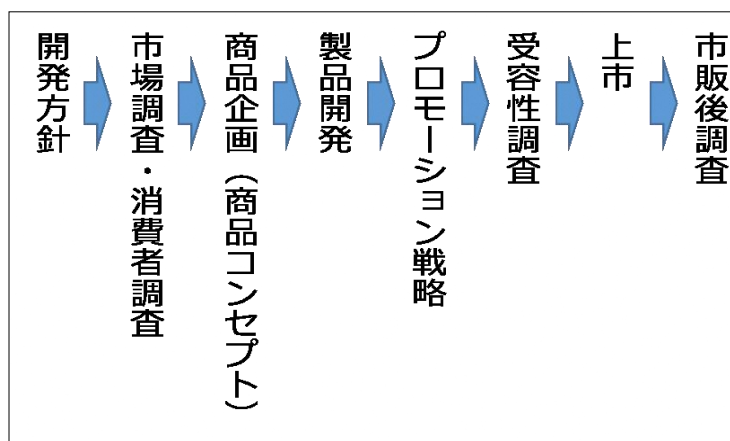
1. 概要

当研究室は、平成 27 年に開講された比較的新しい研究室です。担当教員は、複数の食品メーカーで食品の機能性の研究開発や、商品開発、製造技術などの業務を行った経験を活かし、学生を指導しています。食品開発において、どのようなお客さまに、どのような商品を、どのように提供するかを考えることがマーケティングです。お客さまの求める価値(ニーズ)を、応える価値(シーズ)を、適切な方法で提供することを考えます。

卒業研究では、アンケート調査などによりニーズや嗜好を掴み、その結果をもとに商品のアイデアをコンセプトにまとめ、素材や配合を考え、試作を繰り返しては評価する、ということを繰り返し行うことで、完成度を高めていきます。

調査やコンセプト策定に関して、女子大学生の感性やアイデアやひらめきが面白い形で商品化に結びつくかも知れません。皆さんがお持ちのシーズや技術で商品開発をおこなうための手助けができれば幸いです。

図 一般的な食品開発マーケティングの進め方



2. 希望する連携内容(共同研究、試作品作りなど)と相談に対応できる技術分野

卒業研究のテーマとして、担当教員の指導の元で学生に取り組みさせます。基本的には 10 月から翌年の 11 月頃までで完結するものが望ましいですが、翌年の学生に引き継ぐことも可能です。当研究室のゼミ生は、食品関連企業に就職を希望している学生が多いので、食に対する関心が深く真剣に取り組むことが期待されます。教育の一環として、企業と学生と一緒にアイデアを出し合って進めていく意識を持っていただけたら希望します。

3. 特記事項

- 複数の食品メーカーにおいて、29 年間、食品の研究開発に携わってきました。主に機能性食品の開発を担当しました。